

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<ol style="list-style-type: none"> 1) 心身ともに健康に過ごせること 2) 優しい気持ちを持てること 3) 興味や関心を満たしたくさん遊ぶこと 4) 自分でやろうとする意欲が持てること 5) 自然に触れて感性豊かに過ごせること
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	明るく笑顔をたやさず優しく丁寧な関わりができる人。保護者対応が親切で信頼されるような人。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	保育士としての向上心を持ち子どもを惹きつけられるように沢山の引き出しを持ってほしい。同じ職場で切磋琢磨しながらも協調性を持って仕事ができる様にして欲しい。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	8月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	無記名方式。配付は事業所を通じて保護者へ手渡しし、回収は密封して評価機関に直接送付してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
利用者総数	9		
利用者家族総数(世帯)	7		
共通評価項目による調査対象者数	7		
共通評価項目による調査の有効回答者数	5		
利用者総数に対する回答者割合(%)	71.4%		

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」3名、「満足」1名、「無回答」1名であり、80%の利用者が満足と回答しています。

毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「園における食事・おやつ」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、「職員の接遇・態度」、「病気やけがをした際の職員の対応」、および利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「保育内容に関する説明」でそれぞれ100%と高い満足度がうかがえます。

自由意見では、「しっかり様子を見ていてくれて、毎日その日のことをファイルにも書いてくれて、子どもの様子も分かるので安心します」など、園に対する感謝の声が寄せられています。一方、「保育園には満足していますが、親が仕事の休みの日に預けられないのはどうして、と感じる」などの声がありました。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	4	1	0	0
80%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「(園の対応がどうと言うより) コロナ禍の中での保育なので」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	4	1	0	0
80%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	4	1	0	0
80%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	4	1	0	0
80%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	4	1	0	0
80%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
10. 職員の接遇・態度は適切か	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	4	1	0	0
80%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	3	1	1	0
60%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	4	1	0	0
80%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	1	1	0
60%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

I 組織マネジメント項目 (カテゴリー 1 ~ 5、7)

No	共通評価項目	
1	カテゴリー 1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー 1 (1 - 1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7 / 7
	評価項目 1 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) を周知している 評点 (○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目 2 経営層 (運営管理者含む) は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点 (○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層 (運営管理者含む) は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点 (○○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー 1 の講評	
	<p>保護者が安心して預けられる園を目指し、コミュニケーションを大切にしています</p> <p>園では、保護者とのかかわりにおいて、“子育てのパートナー”としての役割を十分に果たすべく、安心感をもって預けることのできる園を目指しています。実際の日々のやり取りにおいても、保護者からの問い掛けに対して、コミュニケーションをととても大切にしており信頼感を高めています。また、子どもたちには、今を思いきり楽しむことで様々な経験をしてもらい、大きくなった時には、自発的意欲や諦めずにやり遂げる力につながる保育を目指しています。これらの理念・方針は、「入園のしおり」の園長からのメッセージに分かりやすく説明されています。</p>	

	<p><u>園長は、職員が取り組むべき方向性を示し、リーダーシップを発揮しています</u> 園が追究している「子育てのパートナー」になっていくためには、保育者は保護者と一緒に考えながら子育てしているような感覚を持つことが大切と考えています。園長は、年度初めに季節感とともに楽しさを味わえるような行事・イベントの立案を職員に促し、毎月のグループ内園長会からの情報と、これまでの振り返りや反省を踏まえて、どのように進めたらよいかを職員に考えさせるなど誘導・支援して、リーダーシップを発揮しています。また日常保育においても毎週のリーダーミーティングで週案策定のためのアドバイスや改善のヒントを出しています。</p>		
	<p><u>重要案件は、園長と主任とが内容を確認した上で、職員会議にて展開しています</u> 重要案件の組織への取り込みについては、例えば、ステラ保育園（グループ内）の園長会で検討、決定された事項は、園長と主任とが詳細をまず確認するなど打合せで内容を吟味しています。その上で、職員会議にて問題提議を図る手順になっています。なお、同じ星風会グループに属す園長会（5つの園）は定期的を開催しており、そこでは小規模保育にはない報告や情報入手が可能であり、本部指示・連絡も密に行われており、議題にまつわる検討事項や改善事項が発議され、前向きな話し合いの場となっています。</p>		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2 - 1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー-毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2 - 2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー-毎の 標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2		
	着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進	○非該当

	方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 2 の講評		
<p><u>利用者の意向・ニーズへの対応においては、特に個別相談に力を入れています</u></p> <p>利用者の意向・ニーズへの対応は、「足立区教育・保育の質ガイドライン」に従った保護者アンケートを実践しています。満足度は高いとの評価ですが、全体の結果を含めて保護者にフィードバックを行っています。さらに、個人面談にも力を入れており、保護者からの話、それに対する担任からの話、及び保護者から園に対する要望など、柔軟な対応をしており、「個人面談記録」に記帳し振返りを可能としています。また、職員の意向への対応は、年に一度の意向調査や園長面談、普段のコミュニケーションを通じて実施し、次年度の配置、配属に活かしています。</p>		
<p><u>園を取り巻く内外の環境から課題を抽出し、必要な対応を図っています</u></p> <p>地域福祉の現状における特にニーズに関して、足立区の子ども施設入園課とのコンタクトを密にしています。また、足立区内にある星風会グループの小規模保育園（3施設）とは、頻りに電話等で連絡を取り合っています。行政や業界の動向は、主に足立区から提供される情報を、グループ内の園長会（5施設）で共有しています。このようにして得た外部及び内部の状況を踏まえ、職員育成、保護者支援、地域連携（専門機関含む）、清潔で快適な空間、衛生管理の徹底、豊富な遊び環境、など課題として認識し、園として取り組まれています。</p>		
<p><u>中・長期的に取り組むべき課題は、安全対策と職員育成・キャリアアップとしています</u></p> <p>中・長期的に取り組むべき課題の一つは、安全対策と認識されています。これには自然災害（足立区は特に水害に留意）は勿論のこと、感染症（新型コロナウイルス感染症含む）のほか、施設内での嘔吐、さらに、園の前は国道とそれに付随した歩道（自転車）やバス停もあり、それら対策があります。計画・対応はそれぞれ進めており、災害時には、引き渡し含めた対応もすみやかにできるようにしています。もう一つは、職員育成・キャリアアップであり、入職や中堅職員(主任、含)向けの教育研修があり、計画に基づく確実な実行が意図されています。</p>		
3	カテゴリー 3	
経営における社会的責任		
サブカテゴリー 1 (3 - 1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2 / 2
<p>評価項目 1</p> <p>社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる</p> <p style="text-align: right;">評点 (○○)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー 2 (3 - 2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4 / 4
<p>評価項目 1</p> <p>利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に</p>		

対応する体制を整えている		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者 に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している		
		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互 に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組 織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3 - 3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		
		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組ん でいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		
		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをして いる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク (事業者連絡 会、施設長会など) に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
<p><u>園全体で守るべき法、規範、倫理などが遵守されるよう取り組んでいます</u></p> <p>子ども、保護者に満足を与える保育サービスの提供においては、就業規則、行動指針及び服務規程など、保育士の基本的な心構えとして位置付けており、職員採用時から周知しています。例えば、星風会グループ内では特に重要なものとして、「心のこもったサービスを目指して」と題する接遇マニュアルがあり配布もしています。また園内では「保育所保育指針」の読合せも適宜行っており、施設内研修報告書 (今年度10月) に記録していました。このように守るべき法や規範を明らかにして、年度初めや園内研修などに再確認するなど遵守の徹底を図っています。</p>		
<p><u>虐待防止に向けて、徹底した未然防止と速やかな対応体制を整えています</u></p> <p>子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動を未然に防止するため、園内研修で人権について話合う機会を適宜持っています。また、「保育実践振り返りシート」 (足立区作成) を使用して、人権擁護の立場から職員の子ども一人ひとりへの声の掛け方、否定的な言葉の使用禁止など、再確認して理解を深めています。また、朝の登園時には必ず視診によるボディチェック (アザ、キズ) を行っています。もし虐待の疑いのある事実が確認されれば、足立区こども支援センターげんきなど関係機関と連携する体制を整えています。</p>		

	<p><u>園の活動の透明性を高めて地域と連携し、貢献の枠を拡げようとしています</u></p> <p>園の活動内容は、園だよりの配布や掲示を通してお知らせをしているとともに、園HPや足立区HP「保育コンシェルジュ」には、活動を含めた紹介を載せています。また、事業所の役割の一つとして、系列園で受け入れている看護専門学校の実習受入れもしたいと考えており、中高生の職場体験受入れも視野に入れています。さらに、保護者の了解を取り付けたうえで、保育にかかわりのあるNPO法人(シッター)の見学実習(2日間)も受入れています。連携施設園には中央本町保育園(足立区)があり、コロナ禍前には園庭交流もしていました。</p>	
4	<p>カテゴリー 4</p>	
	<p>リスクマネジメント</p>	
	<p>サブカテゴリー 1 (4 - 1)</p>	
	<p>リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる</p>	<p>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5</p>
	<p>評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○○○○○)</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
●あり ○なし	<p>1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる</p>	○非該当
	<p>サブカテゴリー 2 (4 - 2)</p>	
	<p>事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている</p>	<p>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4</p>
	<p>評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
●あり ○なし	<p>1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している</p>	○非該当
	<p>カテゴリー4の講評</p>	
	<p><u>BCPを中心として災害、感染症などのリスクに積極的に取り組んでいます</u></p> <p>地震、水害、災害、新型コロナウイルス感染症対策を含んだ、「ステラ中央本町保育園のBCP(2020年版)」(基本的な考え方は星風会グループ共通)を策定しています。毎年安全計画(地震・火災・水害)を立案し、毎月の避難訓練を含め、安全管理(安全点検、消防署による指導)、防災意識の啓蒙及び教育を積極的に実施し、避難訓練後には毎回反省会をもち、避難訓練実施報告書を作成しています。また、感染症や事故への予防対策について、職員会議で話し合い、対応を分析し、再発防止や見直しに取り組んでいます。</p>	

	<p>日常の保育業務におけるリスク対応にも注力しています</p> <p>日常の保育業務におけるリスク対応にも、積極的な対応を実践しています。園の前には国道に面した歩道があることから、朝は高校生等の通学自転車の往来も多く、時間的に子どもの登園時と重なるため、園の玄関前にコーンとバーで注意を促し、安全性を高めています。また、登園時の子どもと保護者の体温検査、子どもを預かる際の視診)、また、お散歩のチェックは、それぞれチェック表を用いて記録を取り、管理を徹底することで事故(感染拡大含む)の未然防止に取り組んでいます。</p>																																										
	<p>情報管理の方法を規程に定め、情報漏洩への配慮を含め適切な管理・利用に努めています</p> <p>園で使用する文書は、情報保護の対象であることを職員管理マニュアル(行動指針)で明確にしておき、園外への持ち出し厳禁がルールです。対象は、「保育園文書」にて一覧表に示してあり、保管期限を設定し、取り扱い方法(情報の収集、利用、保管、廃棄など)は服務規程に定めています。なお、個人情報を含む機密文書はカギのかかる書庫にて保管・管理がされており、園の稼働時間帯のみ閲覧可能です。また、PCは園長のみのパスワードでの利用可能としており、アクセス制限を設けて細心の注意が払われています。</p>																																										
5	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">カテゴリー 5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員と組織の能力向上</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">サブカテゴリー 1 (5 - 1)</td> </tr> <tr> <td style="width: 60%;">事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる</td> <td style="text-align: right;">サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">標準項目</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している ○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる ○非該当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○○)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">標準項目</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている ○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している ○非該当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">標準項目</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている ○非該当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">標準項目</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている ○非該当</td> </tr> </table>	カテゴリー 5		職員と組織の能力向上		サブカテゴリー 1 (5 - 1)		事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)		評価	標準項目	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している ○非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる ○非該当	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○○)		評価	標準項目	●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている ○非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している ○非該当	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)		評価	標準項目	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ○非該当	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ○非該当	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ○非該当	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている ○非該当	評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)		評価	標準項目	●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている ○非該当
カテゴリー 5																																											
職員と組織の能力向上																																											
サブカテゴリー 1 (5 - 1)																																											
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12																																										
評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)																																											
評価	標準項目																																										
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している ○非該当																																										
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる ○非該当																																										
評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○○)																																											
評価	標準項目																																										
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている ○非該当																																										
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している ○非該当																																										
評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)																																											
評価	標準項目																																										
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ○非該当																																										
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ○非該当																																										
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ○非該当																																										
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている ○非該当																																										
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)																																											
評価	標準項目																																										
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている ○非該当																																										

●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 (5 - 2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3
評価項目 1		
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評		
<p><u>人材確保に向けてグループ全体で大学や専門学校の訪問を毎年計画し実行しています</u></p> <p>園の求める人材の確保に向け、法人本部および系列園が加わり、「学校訪問予定」をもとに、大学や専門学校等を訪問し、理念や方針、園の特色や日常の保育の紹介を含め、PR活動を継続的に実施しています。また、人材紹介や派遣にも必要時には依頼を掛けています。なお、人事異動や配置については、採用時での希望確認のほか、年に一度、グループ全体で意向調査（アンケートのみでなく、面談を通しての意向確認を含む）を行っており、柔軟な異動や配置に配慮しています。</p>		
<p><u>園の求める人材像と職員の意向を踏まえ、年度毎に教育訓練計画書を策定しています</u></p> <p>年度毎に職員一人ひとりの意向を踏まえて、教育訓練計画書（都のキャリアアップ研修含む）を策定しています。これは「足立区教育・保育の質ガイドライン」に範を得て、キャリアパスを見据えた研修計画と連動したものになっており、身に着けたい保育専門分野、実践保育（時代に合ったもの）及びマネジメント研修など、幅広い視野で職員の能力向上を意図し取り組んでいます。また、研修に参加した場合には、研修報告書が出席者から提出され、職員会議で発表し情報共有されるなど、保育の実践に役立てる仕組みが整っています。</p>		
<p><u>職員の働きやすさに配慮し、意欲向上とチームワークの促進に取り組んでいます</u></p> <p>職員の能力に応じた自己評価表をベースに、向上の状況を把握して、園長による星風会グループへの「処遇改善に係る推薦書」の提出により、年に一度、手当アップがされる仕組みがあります。また、働き方改革の考え方を取り入れ、職員は少人数でのローテーション勤務ではあるものの、休暇や振休など本人申請を受け入れています。さらに、保育日誌には、子どもの姿に対する保育者の配慮や反省、並びに日々のミーティングで共有したことを記入し、お互いが参考にすることができ、さらなるモチベーションアップや一体感につなげています。</p>		

7	カテゴリー 7
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー 1 (7 - 1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目 1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その 1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ)	
<p>課題目標として、「子どもの人権に配慮した保育を行なう」を設定していました。具体的に目指す姿としては、子どもの心情に深く配慮し、それによって子ども自身は多くの人から大切な存在として受け止められていると感じ、自己を十分に発揮して自信を持ち、安心して生活できる場所になっていくことをイメージしていました。この目標設定の背景には、子どもたちの家庭環境は様々であり異なっている中で、それぞれのペースに合わせながら保育していく環境が必要であり、とくに保育者はその環境を提供する大事な役割があることから、子どもの気持ちをしっかりと受け止めることのできる穏やかな保育者になってほしいという願いがありました。活動のポイントは、1. 職員会議の場で行動規範に定められている事の確認をする、2. 子どもの気持ちを傷つけるような言動や無視、差別等否定的な対応をしない、3. 解りやすく穏やかに語り掛け、応答的に関わる、の3点です。これらが実現できるよう年間を通じて研修会参加やミーティングを行ない、年度末の自己評価の際には、「足立区教育・保育の質ガイドライン」に従った「保育実践振り返りシート」を用いて、反省、考察及び共有に努めていました。</p>	
目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>活動の結果、年間を通じて研修会参加は積極的に取り組めていましたが、指導的職員のなかには星風会グループ内での異動になった方も出たため、限られた職員の研修会参加となっていました。そのため、研修会で得てきたことを他の職員まで十分に伝え切れない面が出ていました。やはり、各職員が直接研修会に参加することが望ましく、取り組みの反省点としていました。しかしながら、園内での目標に対する取り組みの達成度は80%という園の評価です。今回の活動を通して、継続的に取り組んでいくことの大切さを確認でき、園全体でさらに深めて行きたいとのことでした。引き続き、今後の取り組みに期待します。</p>	

<p>評価項目 2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）</p>	
<p>もう一つの課題目標は、「小規模保育園ならではの魅力を伝える」を設定していました。具体的に目指す姿としては、防犯上園内部の様子を伺にくい施設ではあるものの、園内での子どもたちが楽しく過ごしている様子を感じられたり、散歩に行く楽しそうな姿を見せて行きたい、また、親しみのある壁書きを窓に装飾したり、プランターに子どもと一緒に朝夕の水まきして花を育てるなどして、明るい雰囲気を出して行きたいとのことでした。この目標設定の背景には、園あるビル一階は間口が狭いため閉鎖的に感じ取られる嫌いがあり、バス停近くでバス利用者が並んでいることも多く、室内の声も聞こえるため存在感を示したいことがありました。活動のポイントは、1．小規模保育園でのPR動画撮影への参加協力（足立区の提案）、2．散歩時に地域の方々から声を掛けられたときに、子どもたちが挨拶できる、3．見学希望者への丁寧な対応とし、子どもたちが保育者と過ごしている様子を見てもらう、4．卒園児（2歳児）に手紙・葉書などお便りを出す、5．行事の際には手作り玩具をお土産として手渡す、6．行事、日常の様子を写真に撮り保護者へ提示する、7．連絡帳は詳細に丁寧に記入する、でした。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>取り組みの成果が園児の増加につながればという願いも一部込められていました。活動の結果、園のPR動画の効果もあり、問い合わせや見学者の増加を見た事や2名の入園者を得たことは、一定の成果として認識されており、目標に対する取り組みの達成度は80%という評価です。しかしながら、園は街の中心地から離れたところにあり、近隣に認可保育所が多いことなど地域的な問題も影響し、今年の入園者が少なかったことを課題として分析（0歳児は連携施設園でも同様の傾向）していました。今後に向けては、園児の確保は厳しくなっている中で、保育者の資質向上と合わせて、園の状況や良さをさらにアピールして行きたいとのことであり、今後のさらなる活動に期待します。</p>	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目	
1	サブカテゴリー1	
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点 (○○○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している ○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
	サブカテゴリー1の講評	
	<p><u>園のホームページを通じて、園の概要や園が大切にしている保育理念を伝えています</u></p> <p>「ステラ中央本町保育園のホームページは、イラストで飾った保育室の窓の写真から始まり、利用定員、開所時間、対象年齢、園長からのメッセージ、年間行事予定等の基本情報を掲載しています。また、法人の保育グループ全体として「子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を守ります」「子どもたちが心地よく過ごし、心身ともに健やかに成長して行くためにふさわしい生活を豊かに作りあげていきます」「家庭との連携のもとに、子どもの状況や発達過程を踏まえ、養護と教育を一体的に行います」の3つを理念としていることを知らせています。</p>	
<p><u>「入園のしおり」を用意し、区の公式ホームページにも情報が掲載されています</u></p> <p>表紙にイラストを配した情報量の多い「入園のしおり」を用意しています。入園のしおりには、概要として対象年齢、保育時間、定員、職員、嘱託医の名前も記載しています。また、保育の基本理念、運営方針、保育目標等を掲載しています。保育目標が「丈夫な身体、元気な子、明るく優しく素直な子、みんなと仲よく遊べる子」であることを明記しています。他に区が発行する冊子や区の公式ホームページにも園の連絡先等が掲載されており、区広報に載せるPR動画作成に協力しましたので、視聴を勧めています。区の保育コンシェルジュにも情報を載せています。</p>		
<p><u>利用希望者の問い合わせや見学には園長が対応し、保育内容や園の特徴を説明しています</u></p> <p>見学希望者には前もって電話等で予約してもらい、日程は見学者の希望を聞いて一組ずつ設定しています。新型コロナウイルス感染症予防に十分に配慮しながら見学者を受け入れ、見学者用しおりも用意しています。園が大切にしている保育目標や環境などを見てもらい、持ち物、保育時間、保育士の人数などについて説明しています。保護者からは、少人数の家庭的な保育に理解を示す言葉や、保育士が子ども全員と丁寧に関わっている様子などについて好印象の感想が聞かれており、園長から、も子どもが入園した時をイメージできるように丁寧に説明しています。</p>		
2	サブカテゴリー2	
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6
	評価項目 1	

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目 2		
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 の講評		
<u>入園する子どもの保護者には面談を実施し、約束事や持ち物を伝えていきます</u>		
<p>入園が決定した人には園から電話して入園の意思を確認し、児童票・健康記録などの入園に必要な書類を園に取りに来てもらうか郵送しています。入園前の個別面談は、通常保育の午睡中か散歩中の静かな時間に設定し、必要書類に記入して持参してもらい、重要事項説明書を一枚ずつ確認しながら会話を進めています。集団生活での約束事なども説明し、用意する物は写真や実物をサンプルとして提示し、質問にも答えて説明漏れがないように確認書を交わしています。慣らし保育の予定や、食物アレルギー等の配慮や意向食、個人情報の取り扱いも確認しています。</p>		
<u>子どもが無理なく園生活に入れるように短時間から始める慣らし保育をおこなっています</u>		
<p>入園当初の慣らし保育の有無は、保護者の職場事情も考慮し、就労の都合や子どもの状態を見て個別に決定しており、数日かけて少しずつ時間を延ばし通常の保育時間に移行しています。園側も、新入園児一人ひとりを、共通の理解で迎えることができるよう、入園前面談記録等で子どもの情報を共有しています。慣らし保育期間中は連絡帳の記載事項や会話から子どもの様子を聞き取り、保護者も心配しながら預けているので声掛けを増やして園での様子を伝えていきます。この時期は保護者の緊張もあり、園は希望要望が気軽に話せる関係の構築をめざしています。</p>		
<u>退園・転園していく子どもには制作帳やカードを渡し、クラスでお別れをしています</u>		
<p>保護者の転居など様々な理由で退園していく子どもには、健康の記録や制作帳、作品集などを渡し、寄せ書きや写真付きのカード、手紙を渡して、クラスの皆でお別れをしています。退園・卒園児の住まいが園の近くの場合は園行事に招待したり、保護者の相談に乗るケースもあります。2歳児クラスまでの園ですので幼稚園や認可保育園に進級することになりますが、2歳の夏には次に行く保育園の優先予約の受け付けがあり、園は保護者に情報を提供しています。近くに来た際は立ち寄って欲しいと伝え、相談等があれば継続しての支援を心がけています。</p>		
3	サブカテゴリー 3	
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12
評価項目 1		
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当

●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (○○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評		
<u>子どもの情報を見守りに集約し、日々の様子や成長する姿を丁寧に記録しています</u> 入園前の面接では、保護者の記入した児童票、家庭状況調査表等を基に保護者の意向を聞いています。子どもの基本的な情報、家庭状況、成育歴、発育歴、予防注射の接種状況、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報や保育園までの道順なども児童票ファイルを見れば一目でわかるようにしています。日々の保護者とのやり取りは連絡帳を活用し、個人の月間指導計画を作成し、日々の活動は保育日誌に記録しています。他にも個人面談の記録も綴じて保育に役立てています。子どもの情報はクラス別にファイルして検索しやすくしています。		
<u>「全体の計画」を基に子どもの発達と興味、地域性を考慮した指導計画を作成しています</u> 「全体の計画」は法人本部が作成し、年間指導計画は園の特徴や地域の特性を加え園独自のものとなっています。年間指導計画は年度末に評価と反省をし、4月の最初には新年度分が出来上がっており、月案、週案共に子どもの発達と地域性等を考慮して立案しています。0歳児は月齢が離れているため高月齢と低月齢で計画を作り、1、2歳児合同で過ごすことも多いので、副主任をリーダーとして毎週ミーティングを開いて保育士が意見を出し合って週案を作成しています。その際は子どもたちの興味関心を高め、多様な体験が得られるように工夫をしています。		
<u>園日誌、毎週の職員ミーティング、職員会議などで子どもたちの様子を把握しています</u> 職員は保育士資格を持つ常勤職員のみで記録のスキルを十分に身に付けており保育日誌等記録類には園長の前向きなアドバイスが添えられています。月に2回園長と副主任は話し合いの時間を作っており、その内容を持って毎月1回定例で行う職員会議で子どもの様子を報告し共通の認識で保育に取り組めるようにしています。園日誌には保護者からの連絡や子どもの変化等を記入し、職員間の口頭での確認も頻回に行い連絡漏れを防いでいます。小さい園のため園長と保育士が子どもたち全員の姿を良く知っており、情報共有しやすい環境となっています。		

5	サブカテゴリ-5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p><u>園での個人情報の取り扱いについては、入園時に保護者に説明しています</u> 個人情報に関しては特に配慮しており、園で知りえた子どもと保護者の情報は他に漏れないように留意しています。入園時に個人情報の取得制限、管理、開示等についても詳細に説明しています。ホームページ掲載も保護者に確認し保護者の意向に沿っています。子どもの生活環境や家族構成等も守秘義務を守っています。重要書類を放置しない、決められた場所での保管、持ち出し注意、来訪者への配慮などに関して職員間で徹底しています。子どもの羞恥心に配慮し、おむつ替えは部屋の奥の決まった場所で行い、着替えもパーテーションを使用しています。</p>			
<p><u>各家庭の価値観や生活習慣を把握し職員間で共通理解し個別指導計画に反映させています</u> 家庭によって異なる価値観や生活習慣があることを十分理解し、子どもと保護者の気持ちを大切に保育を実践しています。送迎時の会話、連絡帳の記載は、子育てについての意見交換の機会ともなっており、子どもの家庭での生活サイクルや、保護者の持つ価値観を汲み取るようにしています。個人面談でも保護者の要望を聞き、小さなことでも保育に活かしていこうと考えています。全園児に個別指導計画を立てているため、保護者にねらいを伝え感想を貰っています。日本以外の国籍の保護者の食習慣、生活習慣を尊重する姿勢も示しています。</p>			
<p><u>法人内研修で権利擁護を取り上げ園内研修では自らの保育を振り返る時間を持っています</u> 虐待防止に関して様々な研修資料を用いて、職員が共有する機会を持ち、法人内の「権利擁護研修」では不適切保育の例をあげるなどして人権に関する意識を高めています。区のガイドラインに沿った「振り返りシート」を使用し自らの言動や保育を再確認する機会を設けています。秋には園長が講師となり園内研修「乳幼児の子どもの権利を守り育む」を行いました。職員は、日々の保育での気づきを職員間で話し合える雰囲気大切に、お互いの言動やマナーの向上に努めています。育児困難家庭の支援や保護者支援では、専門機関との連携も取れています。</p>			
6	サブカテゴリ-6		
	事業所業務の標準化		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手	○非該当	

	順等を明確にしている	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目 2		
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p><u>日常保育に必要な手順書、マニュアルが整えられ、業務標準として管理されています</u></p> <p>園の運営にかかわる手順・マニュアル類には、食事面（アレルギー対応含む）、健康管理（感染症対策含む）、事故防止、安全環境、虐待対応、危機管理、苦情解決など取り揃えており、保育活動の拠り所として文書保管がされています。それらは書棚に、整理・整頓された形で保管がされており、職員が閲覧したいときにすぐに利用ができ、また、保育園文書一覧があり、足立区のガイドラインに従って保存年限も明示しています。</p>		
<p><u>手順書、マニュアルはリアルタイムに改訂する仕組みの運用となっています</u></p> <p>保育の基本事項や手順について、それが標準的なもので適切であるかの点検は、主に本部の役目となっていますが、園からの提案に基づき、グループ内園長会（毎月中旬に開催）の後に見直し検討を行う機会を設けており、適切と判断されれば改訂案を本部へ提出し、そこで4者会議（法人本部、グループ内園長代表含めた4名）によるレビュー（月末）がされ、合意に達すれば改訂が承認される運用です。このように、重要な事項や改善に対応したマニュアルへの反映は、リアルタイムでなされ園内にて新たなマニュアルとして活用される仕組みとなっています。</p>		

III サービスの実施項目 (カテゴリー 6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 33 / 34	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている	評点 (○○○○○)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども (障害のある子どもを含む) の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル (けんか・かみつき等) に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評			
<p><u>子ども一人ひとりの生活状況や発達状況を把握して、日々の保育に活かしています</u> 子ども一人ひとりの家庭の状況、入園までの生活状況、健康記録、入園後の発達の経過記録などを基に、日々の生活を共にする中で、現在の発達状況を把握することに努めています。連絡帳の記載事項や送迎時の保護者とのやり取り、個人面談などで、家庭と園の両面から子どもの姿を把握するようにしています。子どもの姿から今後の育ちを見通し、日々の保育が子どもにとって、充実した環境になるようにしています。子どもたちは保育士との関わりの中から、愛情と信頼感を感じ取り、家庭で過ごすのと同じようにのびのびと生活しています。</p>			
<p><u>年齢の違う子どもたちが一緒に活動し、相互の関わりを大切にしています</u> 保育士は子どもの遊びを見守り、子どもが自ら考えて遊ぶことを大切にしています。玩具の置き方や声掛けにも気を配っています。訪問調査時、保育室内で夢中になって遊び、創造性や自発性を発揮している子どもたちに笑顔で話しかける保育士の姿を見ることができました。各保育室は広いワンフロアを低い棚や柵で仕切って作られているため、子どもたちは別クラスの活動を見たり聞いたりできる環境です。散歩や行事、ごっこ遊びなどでは年齢の違う子どもたちが一緒に活動しており、異年齢で過ごす中で刺激を受け、理解を深め友達関係を広げたりしています。</p>			
<p><u>子ども同士のトラブルには、双方の気持ちを受け止めて仲立ちしています</u> 発達過程で個別配慮が必要なケースでは区の専門機関からアドバイスを受けることも可能で、行動理解や関わり方を学び保育士が共有しています。年齢の小さい子ども同士のトラブルには、双方の思いを汲み取りながら保育士が仲立ちして、仕草や言葉で伝えられるように話しています。年齢が高くなるにつれて、保育士が表現方法を変えて伝えたり、気持ちのコントロールの仕方や、友達の思いに気づく機会と捉えて、子どもに合わせた言葉で話しています。けがの無いように見守り、保育士が環境を見直し、保護者には可能な限り正確に伝えるようにしています。</p>			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点 (○○○○)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当

	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評			
<u>登園時と降園時は保育士と保護者の間で子どもの様子を伝え合っています</u>			
登園時の受け入れを担当した保育士は、保護者から家庭での様子を直接聞き、機嫌や顔色、表情を観察し、保護者と園児の両方が検温しています。連絡帳の内容を確認して子どもが一日元気で過ごせるように登園状態をきめ細かく確認し、活動をスタートさせています。降園時は、通常担任が日中の子どもの様子を話していますが、担任が対応できない場合は他の保育士が引き継ぎ、伝達漏れが無いようにしています。新型コロナウイルス感染症予防のため、登降園の混雑を避けるため、玄関内の立ち入りは保護者 1 名に限定し、5 分程の時間で子どもの様子を伝えています。			
<u>家庭と園が連携を図り、子どもたちが基本的な生活習慣を身に着けています</u>			
食事、排泄、衣類着脱などの基本的な生活習慣を身に着けることで、子どもたちが主体的に生きる基礎を作っています。保護者ときめ細かく連絡を取り家庭での様子を聞いています。1 歳児 2 歳児の子どもたちは、散歩に出かける準備も上手に済ませ、帽子をかぶり、靴を履きます。散歩から帰ると、自分から帽子を取ってトイレに行き洗面所で手を洗っています。元気に挨拶もできます。保育士が促すことなく周りを見ながら少しずつ一人でできるようになっています。トイレトレーニングも子どもの発達や意欲を家庭と確認し合いながら進めています。			
<u>子どもの年齢や体調、活動内容を考慮して必要な休息をとれるようにしています</u>			
保育室内で、安心して眠ることができるような環境を作っています。0 歳児クラスや月齢の低い子どもは、家庭での睡眠時間や体調を考慮し、午前睡や昼寝をして、徐々に一回寝のリズムができるようにしています。長時間一緒に過ごす子どもたちが機嫌よく過ごし、健康を維持するためにお昼寝や休息は大切な時間と考えています。子どもに個人差が見られるので、早く目覚めた子どもは身体を休めたり、静かな遊びをして過ごしています。午睡中は保育士が傍らを離れず、呼吸チェックはタイマーを使用して行い、結果をプレスチェック表に記入しています。			
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点 (○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目 3 の講評			
<u>楽しい雰囲気大切に、好きな遊びで気持ちを自由に表現できるよう環境を整えています</u>			
家庭的な雰囲気の保育室には年齢に応じた玩具を揃え、取り合いが起きないように数は多めに揃えています。特に手作り玩具は保育士の手で次々とつくられておりフェルトの人形や果物、キッチン電化製品、新幹線などの特急電車、コイン落としなど、保育室は子どもたちにとって魅力ある環境となっています。子どもの動きを制限せず体験を増やせるように環境を整え、安心感を感じながら、日々生活することで、子どもが人と関わる力を養えるように			

しています。レイアウトを変更し保育室内を広く使い、絵本コーナーを作るなど環境整備にも力を入れています。

歌や手遊び、絵本、紙芝居、季節の制作などを楽しみ、言葉に対する感覚も養っています

保育室の壁面には、画用紙や絵の具、様々な素材を使って年齢に応じた手法で制作した作品を飾っています。季節の制作や描画、歌やリズム、手遊びなど、いずれも楽しい気持ちを自由に表現できるようにしており、保育士のアイデアは豊富で、伝え合うことの楽しさや言葉への興味を広げる年齢の子どもたちのために絵本や紙芝居、図鑑など選んで手に届くところに置き、子どものサインや言葉を遮らないことや、否定的な表現をしないことを申し合わせています。訪問調査時も喃語や片言で話す声を受け止めて笑いかける保育士の姿を見ることができました。

天気の良い日は散歩に出かけ、体を動かす様々な遊びで子どもたちが楽しんでいます

天気の良い日は毎日散歩に出かけており、広い場所で集団遊びやボール遊びなど、十分体を動かしています。保育士は子どもの数や天候などを考慮し散歩に出かけています。戸外遊びや散歩・散策で子どもたちは五感に刺激を受け、たくさんのことを発見しています。固定遊具で全身運動をしたり、工コガーデンの探索活動で虫の発見を楽しんだり、季節の花の名前を覚え、木の葉や実を持ち帰って制作に使うのも楽しみの一つです。ルールのあるゲームも大好きで約束事も徐々に理解しています。夏場は園のある建物の敷地内でタライを用意して水遊びを楽しみました。

4 評価項目 4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点 (○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

行事は、子どもが楽しめることを第一に考え、関心を持って取り組めるようにしています

行事は、日常保育の延長と考え子どもたちが楽しめる範囲で実施しています。手作りの温かい雰囲気大切に、子どもたちの成長につながる行事を企画しています。お屋さんごっこは、今年は回転するお寿司屋さんの企画とし、0歳児がお客さん、2歳児が運ぶ役目となり、食べ終わった後の皿をボックスに入れる動作が子どもたちに大変好評でした。2歳児の担任が、どんなお店にするか調べ、他の保育士からのアイデアも入れて、のり巻きをフェルトで作るなど、全て手作りで準備しました。お土産にお寿司パックを渡し、保護者からも好意的な感想が寄せられました。

新型コロナウイルス感染症対策に力を入れ、保護者参加で「夏祭り」を楽しみました

今年は、新型コロナウイルス感染症対策で保護者不参加や参加人数を限った行事が多く、園は登降園時の会話で準備の様子を話し、家庭でも話題にしてもらっています。行事を通して保護者にも子どもの成長を喜んでもらいたいと考えています。保護者の気持ちを良く知る保育士は、夏祭りの企画で、感染症対策を万全にした上で1部2部に分け、保護者と子どもと一緒に楽しむ企画を立てました。玄関のお面屋さんで好きなお面を選び、コイン落とし、釣り、スーパーボールすくい、ヨーヨー、紐引き、コロコロボーリングなど年齢に合わせたゲームに挑戦しました。

保育士がアイデアを出し合い、楽しみながら伝統文化を体験できるようにしています

クリスマス会は、真ん中の保育室に全員が集まり、絵本「さんかくサンタ」を読んで、「あわてんぼのサンタクロース」を歌うなどで雰囲気を出し、節分はお面をかぶり、壁の鬼の絵を的に、ボールを当てて鬼退治する企画です。新年子ども会は、園児が揃う1月中頃に設定し、コマ回しや福笑いなど企画中です。アイデアと力量のある保

	<p>育士を副主任がリードして、季節の壁面の装飾を充実させ、降園時に保護者の目に入る位置に子どもたちの作品等を掲示するなど工夫があります。「来月はどうしようか」との問いに保育士から様々なアイデアが飛び交っています。</p>		
5	<p>評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている</p>		<p>評点 (○○)</p>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
<p>評価項目 5 の講評</p>			
<p><u>保育時間の長い子どもたちもゆったりと落ち着いて過ごせるようにしています</u> 7時30分から18時30分までの間で、仕事に合わせて利用時間を決めています。8時30分から16時30分を短時間利用とし、入園時に区で決めた利用時間を守っての利用となります。園は指導計画に長時間にわたる保育への配慮を位置付け、家庭で過ごすのと同じようにゆったり過ごせるように保育士が細かい配慮をしています。マットを敷いたスペースで休息が取れるようにしたり、パズルなどの机上遊び、ブロックや人形などを出し、何をしたいかを聞いてその子の好きな玩具を出すなどしています。</p>			
<p><u>子どもの様子を保護者に伝え、親子の会話を増やし安心して帰宅できるようにしています</u> 保護者の就労やニーズに合わせて保育時間を設定し、きめ細かい配慮をしています。保育士間で時間を取って子どもの様子を申し送り、降園時は子どもの様子を保護者に確実に伝えるようにしています。訪問調査時は、降園時間と重なり、何人かの保護者が順番に玄関に現れ、その様子を見ることができました。保育士が荷物を持ち子どもと玄関に行き、子どもも含めて今日の出来事を楽しそうに話していました。降園時の親子の会話は増え、安心して帰宅する様子が見て取れました。降園時の様子には保護者との信頼関係が感じられました。</p>			
6	<p>評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している</p>		<p>評点 (○○○○)</p>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
<p>評価項目 6 の講評</p>			
<p><u>季節の新鮮な食材を使用した美味しい食事とおやつを提供しています</u> 栄養バランスの取れた献立の中に季節の行事食などが取り入れられており、調理師が子どもたちの嗜好に合った味付けで美味しい給食とおやつを提供しています。楽しく食べることを第一に考え、0歳児クラスは離乳食完了に向けて個別の対応をしています。新型コロナウイルス感染症対策で会話をせずに食事を摂る約束のなか、気の合う友達とテーブルを一緒にしたり、誉め言葉を添えながら保育士が優しく見守り、子どもに合わせた量で完食した喜びを体験できるようにしています。椅子と机、茶碗、スプーン、フォークなども子どもに合ったものを使用しています。</p>			

食物アレルギー対応や配慮食の提供では、入念なチェック体制で臨んでいます
 食物アレルギーの有無や種類は、入園前面接で把握しています。対応マニュアルに沿って個別対応をしています。職員は、当日のアレルギー対応食、除去食を確認し、配膳時には二重三重にチェックして誤配膳を防いでいます。意向食、配慮食の希望にも応えており、宗教上食べることができない食品があれば相談に応じています。いずれも保護者と面談して毎月献立を渡し、チェックした食品を園長が再度確認し、調理、盛り付けでも注意し誤食を防いでいます。アレルギー会議を開催し、卵やマヨネーズを使用しないで、おやつのカッキーや蒸しパンを作るなどしています。

食育活動の展開では、年齢に合った工夫で楽しく取り組めるようにしています
 年齢に合わせた食育に取り組んでおり、その様子は「食育だより」に載せて保護者に知らせています。食材がモチーフの絵本を読み、歌を覚え、季節の食材や日本文化に興味を持つようにしています。バラエティーに富んだ献立で提供される給食で、色々な味を体験することで、苦手な食材も口にできるようになっています。栽培体験では2歳児が紙コップに種を入れ、スプラウトを育てようとしたのですが、発芽に差があり、次回の課題として検討しています。野菜に触れ感触や匂いを確かめたり、ピーマンを切ってスタンプで制作をするなどしています。

7 評価項目 7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点 (○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み (乳幼児突然死症候群の予防を含む) を行っている	○非該当

評価項目 7 の講評

子どもたちが健康に関心を持ち、自ら病気やケガを予防できるようにしています
 新型コロナウイルス感染症の予防の話をして、手洗いを丁寧にするように伝えていきますので、登園すると子どもたちは靴下を脱いで手を洗っています。洗面には、手を洗う順番を示すイラストを掲示してあり、外遊びの後や食事の前には進んで手洗いしています。散歩の時、保育士が「信号なにいろう」と聞いて信号の見方や横断歩道の渡り方など交通ルールを守って安全に移動する方法を知らせています。何でも自分でやりたい年齢の子どもたちは、身の回りの清潔について関心を持っていて、指示を待たずにケガや病気を防ぎながらの生活を少しずつ身に付けています。

保育士による健康観察と検温、身体計測、嘱託医による健康診断で健康管理をしています
 登園後の検温、午睡後の検温で子どもの健康状態を把握しています。法人の嘱託医が来園し全園児について年2回定期健康診断を実施しています。検診結果と毎月の身体計測結果は保護者に報告しています。医療的なケアが必要な子どもの入園については入園前面談で把握し、医療機関の意見書で配慮事項を確認し保育士が情報共有して集団生活の中で十分留意することとしています。園では原則薬を預かりませんが、保育中に投薬や塗布が必要なケースでは個別に相談に応じています。

保護者には感染症にかかった時の対応や乳幼児突然死症候群について説明しています
 特定の感染症にかかった際は、医師から登園証明書をもってから登園することなどについて、入園時に保護者に説明しています。園内で感染症が発生した場合は、玄関に状況を知らせるボードで伝えることと定めています。乳幼児突然死症候群については、0歳児は5分ごと、1、2歳児は10分ごとに呼吸チェックを実施し、顔と体の向きも記録しています。午睡時は窒息を防ぐタイプのマットを使用し、保育士が傍らを離れないようにしています。

8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点 (○○○●)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	○あり ●なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目 8 の講評			
<p><u>保護者の意見や要望を聞く機会を増やし、コミュニケーションを大切にしています</u></p> <p>入園前の面接では、保護者の就労状況に応じて意向を確認し、様々な理由による急な変更にも柔軟に対応しています。登降園の時間への配慮も個別の申し出を受け、対応しています。園長は「文字に頼らずコミュニケーションを取る」が大切と考えており、担任は子どもとの信頼関係を、園長は保護者との関係性を大切にしたいと考えています。園長への相談数は多く、相談後に「聞いてもらって良かった」との保護者の感想も聞かれています。登降園時は、保護者は一組ずつ玄関に入るルールのため、会話が減らないように配慮し、園に対する意見・要望も聞いています。</p>			
<p><u>保護者の来園に制限がある中で公園での保育参観や夏祭りを実施し好評でした</u></p> <p>保育の見通しを保護者と共有し、理解し合うために園だよりやお知らせで保育のねらいを説明し、日々の活動シーンを写真で紹介し、保育活動に興味を持ってもらえるようにしています。連絡帳は子どもの表情や微笑ましい姿が伝わるように記入しています。新入園児の活動の様子を見たい保護者の気持ちを察して、公園で遊ぶ姿をこっそり参観する機会を作りました。参観後は保護者に感想を提出してもらい、結果を保護者にフィードバックすると共に保育に活かしています。行事では、子どもと保護者が一緒に楽しめる「夏祭り」を企画し好評でした。</p>			
<p><u>個人面談では子どもの様子を話し合い、同時におやつ参観をするなど工夫しています</u></p> <p>保護者の意見を聞いているうちに、保護者用の掲示板を玄関に置いて内容を見て貰えないといった現状があることを知り、保育士が工夫を重ねています。今していることを保護者に理解してもらうために努力したいと考えて、個人面談は、少し早くお迎えに来てもらう形で開始し、同じ時間帯に隣室でおやつを食べている子どもの姿をそっと見ることができるようになりました。個人面談には、ほぼ全員の保護者が参加しました。感染症対策の徹底のため見送られている数々の保護者参加行事、保護者同士の交流などの再開が待たれています。</p>			
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評			
<p><u>園の周辺の自然豊かな大小の公園を、戸外遊びの場として活用しています</u></p> <p>園の前は幹線道路で、玄関を出るとバス停があります。少し歩くと区役所があり、散歩の途中で消防署の前を通るなど、散歩ルートで子どもたちが地域を知る機会を作っています。散歩の途中で子どもたちは地域の人に挨拶しており、地域との交流が人の温かさを感じさせてくれます。ハロウインの行事では仮装した子どもたちが公園を歩きました。園の周辺には自然豊かな公園があり、戸外遊びや自然探索の場となっています。新型コロナウイルス感染症対策のため、公立保育園との交流や図書館、児童館など公共の施設も閉館しており交流の再開が待たれます。</p>			

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-4	日常に保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル①	アイデア豊富な保育士が手作りの温かい雰囲気大切に季節行事を企画しています	
内容①	<p>お店屋さんごっこは、今年は回転するお寿司屋さんの企画とし0歳児がお客さん、2歳児が運ぶ役目となり、食べ終わった後の皿をボックスに入れる動作が子どもたちに大変好評でした。のり巻きをフェルトで作ってお土産の寿司パックも準備しました。クリスマス会は部屋を飾り、絵本や歌でクリスマス気分を出し、新年子ども会は園児が揃う1月中頃に設定し、コマ回しや福笑いなど、節分はお面をかぶり、壁の鬼の絵を的にボールを当てて鬼退治する企画で行いました。特に印象深いのは夏祭りで、好きなお面をかぶり保護者と一緒に用意されたゲームに挑戦しました。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル②	副主任をリーダーに、毎週のミーティングで意見を出し合って週案を作成しています	
内容②	<p>年間指導計画は、園や地域の特徴を加えた園独自のものです。年度末に評価と反省をして4月には新年度分が出来上がっています。年度の初めから園児の数が徐々に増えていく小規模園のため、月案、週案共に子どもの数や発達、地域性等を考慮して微調整しながら日々保育を展開しています。0歳児は月齢が離れているため高月齢と低月齢で、1、2歳児は合同での活動も多く保育士が相談しながら立案しています。副主任をリーダーとして毎週ミーティングを開き、意見を出し合って計画を作成しています。興味や関心を高め多様な体験が得られるようにしています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	日常の保育業務において、リスクを把握し徹底した安全対策を実行しています	
内容③	<p>安心して子どもを預けられる園を目指しているため、保育の現場において、安全対策に熱心に取り組んでいます。例えば、登園時の体温測定や視診、お散歩時の点検は、それぞれチェック表に記録を付け管理を徹底しています。また、「ヒヤリハット報告書・事故簿」やそれに付随する「怪我簿」、「事件・事故報告書」の記録もあり、園内での共有や振り返りもされています。さらに、「自主点検表(設備)」により予防的な管理もされています。このような安全対策の積み重ねが、保護者の安心感につながり、信頼感を一層高めています。</p>	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員の意欲向上に積極的に取り組んでおり、それぞれの得意分野が活かされています
	内容	職員の得意分野等を活かし、十分に力を発揮できるような役割分担が図られており、職員自らがやりたい保育を行なえるような職場風土になっています（各イベントなど、出来合いのものでなく、どのような工夫をしたいのか、自分らしさを投入）。さらに、研修にも力を入れており、共有化が図られ職員のモチベーションアップにつながっています。また「○○はどうしたらよいかしら？」など、園長から職員への声掛け等により、職員からの意見や提案が多く出ている現状です。今回の職員アンケートでも、モチベーションにかかわる評価はほぼ満点となっています。
2	タイトル	少人数でゆったりとした保育は園の特徴となっており、子どもたちは好きな遊びで自由に表現し、散歩・散策でおもいきり体を動かしています
	内容	年齢に応じた玩具を多めに用意し、特に手作り玩具は保育士の手で次々と作られ保育室は子どもたちにとって魅力ある環境となっています。子どもの動きを制限せず体験を増やせるようにレイアウトを変更し、保育室内を広々と使い絵本コーナーを作りました。子どもたちは、安心感を感じながら日々生活しています。天気の良い日は散歩に出かけ、広い場所で集団遊びやボール遊びなどで十分に体を動かしています。戸外遊びや散歩・散策で五感に刺激を受けた子どもたちは、たくさんの発見をしています。ルールのあるゲームも大好きで約束事も徐々に理解しています。
3	タイトル	子どもたちの日々の活動を見たい保護者の心情を理解し、工夫を凝らした保育参観、個人面談の実施等で支持と信頼を得ています
	内容	保育の見通しを保護者と共有し理解し合うために園だより等で保育のねらいを説明し、日々の活動シーンを写真で紹介しています。連絡帳は子どもの表情や微笑ましい姿が伝わるように記入しています。保育参観は公園で遊ぶ姿をこっそり見る企画で実施し、保護者宛て「観察のポイント」で理解を促し参観後は感想を聞いています。個人面談は少し早く迎えに来てもらい、同じ時間帯に隣室でおやつを食べる子どもの姿をそっと見ることができるようにし、ほぼ全員の保護者が参加しました。行事では子どもと保護者が一緒に楽しめる夏祭りを企画し好評でした。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	手順・マニュアルの整理と日常的な保育業務のなかでの活用に期待します
	内容	園では保育経験が豊富な職員も多く、園内での連携（主に口頭）は取れていますが、マニュアルの日常的な活用について園として課題と考えており、すぐ手に取って活用していくような日常にしたいとも考えられています。現在では、保育業務の上で特段問題は発生していない状況ですが、人事異動、法令改正など予期せぬ事態が生じたときに、これまで培ってきた標準的なノウハウを手順・マニュアル類で確認したり、後進に伝えたりする場面も出てくると予測され、日常の中で手順書類を活用するあり方が期待されます。
2	タイトル	園（小規模保育園）としての魅力をさらにPRしていく工夫や取り組みに期待します
	内容	園の魅力を外部や地域に知ってもらう取り組みはこれまでも実施されており、実例として、足立区からの提案でPR動画撮影（見学に来た保護者にも宣伝）、卒園後（2歳児）にも手紙・はがきで便りを出す（楽しい保育園だったと感じてもらう）などに取り組み、成果として口コミで入園した園児は今年度2名いました。今後、開かれた小規模保育園としての園の魅力を外部にさらにアピールしていくことの必要性は、園として重要課題として認識しており、コロナ禍が収束しない現状ではあるものの、今後のさらなる工夫、継続的な取り組みに期待します。
3	タイトル	日々起こる出来事の伝達については、記憶違いの防止や過去に遡っての検索のために、口頭に加えて記録に残すことが期待されます
	内容	職員は保育士資格を持つ常勤職員のみでベテラン職員を揃え質の高いサービスを提供しています。記録のスキルを十分に身に着け指導計画や園日誌はきれいな字で丁寧に記録されています。そこには園長の前向きなアドバイスが添えられ、皆で学ぶ意欲が高いこともうかがえます。保育現場の記録は重複が多いので省力化を目指す意識も理解できますが、日々起こる出来事の伝達が口頭で行われている様子には不安も感じます。ほんの小さい伝達事項でも記憶違いを確認し、また、過去に遡って伝達を確認できるような記録については一考の余地があると思われます。